みなみく
No.23
コミ協ニュース

地域の皆様へのお知らせ

第 35 回南区民スポーツ大会

日時：5 月 18 日（日）
（屋外種目は雨天順延の場合 5 月 25 日（日））
場所：マツダ体育館

16 の小学校区ごとに選出された、総勢 1,200 名の選手が、10 種目の競技で熱戦を繰り広げます。小学生から高齢者まで幅広い年齢層の方々が、日頃の成果を十分に発揮し、チームでの盛り上がりを見せてくれることでしょう。

南区では、学区ごとの得点を合計し、総合 3 位まで表彰を行います。各種目の上位チームは 10 月に開催される「広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバル区対抗競技」に南区代表として出場します。今回から、ペタンクが得点種目となることから、更に白熱した好ゲームが期待されます。

詳しくは、南区民スポーツ大会委員会事務局（南区スポーツセンター内）にお問合せください。（☎ 251－7721）

県立広島大学と南区の地域連携協力

［南区役所］

2 月 28 日（金）に、県立広島大学と南区の地域連携協力に関する協定が締結されました。

当日は、同大学と南区役所の関係者が出席し、中村学長と住田区長が協定書に調印しました。

今後は、コミ協の 5 か年計画が目指す「より良い地域社会の実現」のために、同大学と区役所が、住民の皆さんと一体となって、魅力づくりや福祉などの課題に取り組んでいくことになりました。

求む！地域のお宝自慢「南区百物語」を作ろう！

［南区役所］

皆さんの地域の誇りとなり、住民の心をつなぐような「お宝」を、各地域で発掘して、お互いに自慢し合いませんか。

南区役所では、**コミ協５か年計画**とも連動して、今年度から、南区の各地域に伝わる伝説や行事、芸能、料理、風習などを集めて、発表する事業を計画しています。そして、これを契機にして「南区七大伝説」を「南区百物語」に発展させたいと考えています。募集や発表会の詳細は、広島市の広報紙やホームページでお知らせします。

カラスにご注意！

カラスは、3 月～7 月にかけて巣を作り、卵を産み、巣立ちまでヒナを育てます。カラスは、ヒナを守るため、ヒナに近づく人を敵とみなして攻撃する習性がありますので、ご注意ください。

（対策）
- 野生鳥獣の駆除は、鳥獣捕獲許可が必要。巣営（巣を作ること）するまでに、施設管理者へ連絡し、巣作りをさせない。
- カラスの巣の近くを通らない。
- やむをえずカラスの巣の近くを通らなければならない時は、傘やカバンなどで頭を保護する。
- その他気になることがありましたら、南区役所地域起こし推進課（☎250-8935）にお問い合わせください。

発行者：南区コミュニティ交流協議会
事務局：南区役所地域起こし推進課内
☎250-8935　E メール：mi-chiiki@city.hiroshima.lg.jp

※ホームページではより多くの記事と写真をご覧いただけます。
コミ協ニュース　２３号　検索

加盟団体の活動レポート

南区クリーンキャンペーンのご紹介

［南区公衆衛生推進協議会］

第 26 回南区クリーンキャンペーンを昨年 9 月に開催しました。広島駅前橋北京橋川緑地から出発、約 200 名が 4 班に分かれて、ごみ袋、ポリ袋を持ち、1 時間かけて清掃し、ペットボトル、たばこの吸殻など約 120 kgが集まり、比治山下電停緑地で無事終了しました。最近歩道もカラーの所が多くなり、歩行者もマナーが良くなったようで、年々ごみも少なくなったようです。

本年も 9 月頃にクリーンキャンペーンを開催する予定です。皆様、「きれいな広島」のために、ご協力お願いします。

段原地区避難訓練

［段原地区自主防災会］

今回の防災訓練は、昨年の自主防災の総会の際に決定しました。

段原地区では、9 年前に防災訓練を実施しましたが、その際の様子を詳しく覚えている人がいませんでした。特に大きな問題だったのは費用で、南消防署と相談して助成金を頂くことによって解決しました。

昨年の 9 月の自主防災の総会から本格的に動き始め、会議を重ね、12 月 8 日の本番を迎え、スタッフを含め 400 数名に参加いただき大変な盛り上がりがありました。

今後は 2～3 年後に再度実施する事と、災害別にどこに避難したらいいのかに関しての講習会を実施する事を計画しております。

丹那新町の防犯防火運動

［丹那新町町内会］

わが町丹那新町は、黄金山の西側中腹に位置する世帯数 260 世帯余りのこじんまりした町内会です。

防犯防火運動については、「自分たちの町は自分たちで守る」を合言葉に、平成 17 年から毎週金曜日 21 時から、20 分ぐらいの時間をかけて、2 班で、町内を「戸締り用心・火の用心」を発声しながらパトロールしています。

また、年末については毎年 12 月 21 日～30 日まで、年末重点パトロールと称して同じ時間帯でパトロールしています。

この声を聴くことにより、「もう一度戸締りを確認しておこう」とか「ガス栓は閉まっているかな、風呂の火はどうかな」との意識づけになればと思って頑張っています。

平成 19 年からは、青色回転灯を地域おこし推進課から 1 台貸与を受け、町内会で 2 台購入し、現在は 2 名で青パト活動をしています。

今後は、町内会会員が進んで参加できるよう工夫し、「自分たちの町は自分たちで守る」を実践していくつもりです。

平和大学（福祉研修会）・新年互礼会

［南区身体障害者福祉協会］

本年は 1 月 12 日に来賓会員など 40 名の参加者で開催しました。

当日の広島市出前講座で、広島市役所保険年金課の井上課長補佐より、私たちの日常生活で最も身近な「医療保険制度について」詳しく説明して頂きました。高齢者の医療費の増大が顕著に現れていることを改めて知り、日頃から医療費に対する自覚の大切さを感じました。

新年互礼会では、本年が希望の持てることを願い、皆さんで楽しく歓談しました。

南区ＰＴＡコーラス交歓会

［南区ＰＴＡ連合会］

1 月 19 日に南区民文化センターのホールで開催しました。今年度は大州小ＰＴＡが準備

から当日の運営を行ってくれました。南区の市立小学校 9 校が参加し、日頃の練習の成果を発表しました。学校によっては合唱部があるようで、どの学校もレベルの高い合唱が響きました。

南区にお住まいで市立小、中学校にお子様が通っておられる方で、興味のある方は通っている学校のＰＴＡに問い合わせて、来年は是非参加してみて下さい。ありがとうございました。

参加校：**大州小、仁保小、翠町小、比治山小 宇品東小、楠那小、段原小、向洋新町小 宇品小**

南区青少年健全育成研修会

［南区青少年健全育成連絡協議会］

2 月 22 日に南区役所講堂で開催しました。各地区から約 70 名が参加し、電子メディア・インストラクターの柴田脩司さんに、「ケータイの世界を知ろう～子どもたちを守るために～」と題して講演をいただきました。

スマホの技術とアプリの開発進歩は目覚ましく、若い世代にはますます魅力的なツールになっているようです。今流行の LINE アプリの問題点、写メやネットへの画像投稿流出による犯罪被害、アダルトサイト検索により架空請求が届き、恥ずかしさから誰にも相談できず支払った事例も聞き、子どもの異変に親が気づくためには、日々のコミュニケーションや相談できる環境づくりがいかに大切かを学びました。また、「家庭内でのルールづくりが不可欠」、「ケータイは親が買い与える物で子どもの物ではない」という言葉が印象的でした。大人ができること・すべきことは何かを考えるヒントを得て、少しずつでも日常生活の中で実践に移していきたいものです。

先進地視察報告「防災とコミュニティ活性化」

日程・視察先：

12 月 5 日(木)　神戸市消防局
12 月 6 日(金)　大阪市コミュニティ協会

視察者：

今井松彦（似島地区社会福祉協議会）
岡野泰明（南区自主防災会連合会）
日浦章裕（宇品東社会福祉協議会）
ほか事務局 1 名が随行

概要：

防災福祉コミュニティについて

（神戸市消防局）

1 日目は、神戸市で地域防災支援を担当している消防士さんにお話を伺いました。

平成 7 年の阪神・淡路大震災以降、神戸市は「防災福祉コミュニティ事業」を進めました。小学校区の各種地域団体で組織をつくりました。「福祉」という言葉が含まれていることに注目してください。防災活動は頻繁には行われないので、日常的に行われる福祉活動を取り込むことにより、「顔が見える」関係をつくり、いざというときに力が発揮されるような組織を目指しています。このほか、子どもを巻き込み楽しさの要素を加えて防災イベントを行うなど、参考になることがたくさんありました。

コミュニティ活性化の事例

（大阪市コミュニティ協会）

2 日目は、大阪の都市コミュニティを研究している研究員さんらにお話を伺いました。

大阪市では平成 24 年度から全部の地域で「地域活動協議会」の制度を始めました。小学校区でこの協議会をつくり、市からの補助金を一括して交付。地域内で分配を決めたりすることで、地域の自立促進、事業の効率化、会計の透明化などが期待されます。

大阪市でも防災で参考になることがありました。吉本興業とコラボしてお笑いの要素で多くの人が参加できる「防災劇場」というイベントです。大阪らしい事業ですね。

「防災」はコミュニティづくりの大きなテーマです。「災害時に一番頼りになるのは地域」ということをアピールしていけば、コミュニティの活性化につながると感じました。

■コミ協ニュースのホームページに報告発表会の資料

大会結果

南区親善大会

［学区体育団体南区連合会］

バトミントン競技：
開催日：12 月 1 日（日）
会場：南区スポーツセンター
順位：

グループ	1 位
ＭＡ	川田・塩見（黄金山）
ＭＢ	川満・出水（比治山）
MC-1	柳部・龍田（宇品東）
MC-2	笹田・沖本（皆実）
MD-1	野田・世羅（翠町）
MD-2	山元・尾笹（大河）
ＭＥ	静村・大窪（仁保）
LA-1	中田・義田（宇品）
LA-2	大原・田宮（比治山）
LB-1	坂本・上野（黄金山）
LB-2	尾笹・加川（大河）
ＬＣ	光田・田原（楠那）

卓球競技：
開催日：12 月 8 日（日）
会場：南区スポーツセンター
1 位組み決勝トーナメント　1 位　宇品Ａ
2 位組み決勝トーナメント　1 位　青崎
3 位組み決勝トーナメント　1 位　宇品Ｂ

南区老連囲碁将棋大会

［南区老人クラブ連合会］

12 月 6 日(金)に開催しました。囲碁・将棋とも有段級位の部門で熱戦を展開して、各部門上位 3 名が 2 月 12 日（水）の広島市老連大会に出場しました。市老連大会の有段者上位 3 名は第 27 回全国健康福祉祭（栃木県）の出場権が与えられます。

南区老連囲碁将棋大会の結果は、次のとおりです。

囲碁：

順位	有段者	級位者
1 位	木下文雄（出汐）	宇根三雄（仁保）
2 位	大原　肇（丹那）	崎本由郎（皆実）
3 位	石田常雄（青崎）	江崎隆一（向洋）

将棋：

順位	有段者	級位者
1 位	木村　恒（段原）	小田憲吾（仁保）
2 位	井伊弘昌（東雲）	小方靖夫（皆実）
3 位	山田　毅（蟹屋）	森田　實(西本浦)

冬季スポーツフェスタ

［南区子ども会連合会］

開催日：
2 月 23 日（日）
会場：
南区スポーツセンターほか

ドッジボール：
優勝　大州学区子ども会
準優勝　翠町学区子ども会
3 位　比治山学区子ども会
　　楠那学区楠那ドッジ魂

カローリング・縄跳び：

区分	1 位	2 位	3 位
低学年	翠町Ｄ	楠那Ｃ	翠町Ｂ
中学年	翠町Ｈ	皆実Ｆ	比治山Ｆ
高学年	向洋新町Ｋ	似島Ｋ	元宇品Ｋ

功労者表彰

永きにわたり、町内会長として地域進行に貢献され、辞任された次の方に、松井市長から感謝状が贈呈されました。

吉田治平氏
（皆実町一丁目平和住宅自治会前会長）
会長在任期間：38 年

みなみく
No.23
コミ協ニュースプラス
（ホームページ増補版）

加盟団体の活動レポート

親子ふれあいのつどい ～燻製作りを体験しよう

［楠那地区青少年健全育成連絡協議会］

南区青少協では、地域の子どもと大人のふれあい交流促進を目的として、毎年中学校区単位で「親子ふれあいのつどい」を開催しています。今年は 2 月 15 日に楠那小学校グラウンドで開催しました。寒い曇り空でしたが 74 名の子どもたちと保護者の方が集まりました。

仁保にお住まいの、燻製作りを趣味とされている松尾さんを講師に迎え、段ボール・金網・チップ材などの簡単な道具で、チーズ、蒲鉾、ウィンナーを燻製にしました。出来上がるまでの間、松尾さんからお話を聞いたり、あらかじめ作っていたベーコンやゆで卵の燻製を試食したりして過ごしました。

出来上がった燻製を、子どもたちは「美味しい」と、すべて食べてしまいました。２時間弱の楽しいひとときを過ごせたと思います。

最後に、楠那小学校ＰＴＡ・児童館・母親クラブの皆様方、ご協力有難うございました。

平成 25 年度広島県教育振興会 助成金を受けて

［大河地区青少年健全育成連絡協議会］

助成制度を活用した大河地区青少協の取組みをご紹介します。

平成 26 年 2 月、小学 1 年生から 6 年生の親子を対象に「革細工教室」を開催し、親子共同でペンシルケースを作りました。硬い革にそれぞれ好きな型押しで模様を付け、周りを糸で縫う、世界にひとつしかない本革製ペンシルケース。保護者たちには、子どもたちのサポート役に徹してもらい、最後はみんなの前での作品披露。

「ずっと使えるものができた」「ものづくりの楽しさを親子で感じた」「親子のふれあいが深まった」などの嬉しい感想を述べてくれました。

加えて、平成 25 年 9 月には、「おおこう Jr パトロール隊」の安全確保のための防犯ブザーの配付、同年 11 月には小学校の日曜参観に併せて「広島ジュニアマリンバアンサンブル」の演奏会を観賞し、芸術に触れながら心を豊かに児童の感性を育てる活動を行いました。

助成金活用で、より多くの子どもたちの健全育成事業に取り組めたことに感謝しています。